

(様式第4号)

上田城南地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日時	平成27年12月17日 午前9時30分から午後12時まで
3 会場	城南公民館 2階 多目的ホール
4 出席者	青島委員、荒井会長、石井信子委員、井出委員、内山委員、河野委員、新谷委員、関委員、田玉委員、田中委員、西澤委員、牧野委員、増澤委員、宮下委員、宮本委員、柳澤委員、
5 市側出席者	池田地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進担当係長、樋口市民参加・協働推進担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年12月25日

協 議 事 項 等

会議次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議事項

(1)意見書について

- ・意見書の内容について説明(第3部会「シニアの安全・安心なまちづくりについて」)
- ・以下、意見交換

(委員) 住民支え合いマップの作成について自治会へ要請する内容があるが、市として取り組むべき内容の記載を入れたほうが良いと思う。

(委員) 市と社会福祉協議会が連携して自治会に働きかけ、支援班を組織するよう自治会へ指導してもらいたい

(委員) 災害時、救援を要する人は多数いるが、実際は名前を地域に公表してほしくないという人もいて、実際の人数より少ない人数しか把握できていないのが現状である。

(委員) 現状としては、個人情報保護法と民生委員の守秘義務があり、なかなか話が進まない。先進地の事例があるなら、参考にしてみようか。

(委員) 行政によってやり方が違うため、先進地の事例のとおり取り入れることは難しいかもしれないが、参考にできるところもあるということ住民の声として意見書に記載する必要があると思いい、盛り込んだ。

(委員) 支え合いマップが機能している地区は、任期の長い民生委員が積極的に取り組んでいる地区で、自治会長の任期が延びるとうまくいく地区が増える。市へ、担当職員の配置を要望してもらいたい。

(委員) 一人暮らしの高齢者宅を回ってもらい、要支援護者の登録率を高めたという事があるので、市と民生委員が協働してやっていくべきである。

・資料を基に説明(第1部会「地域交通の利便性について」)

・意見なし

・資料を基に説明(第2部会「これからの子育てについて」)

・以下、意見交換

(委員) 表題について「小中学校児童期・青年期におけるこれからの子育てについて」にしてはどうか。

(委員) 地域ボランティアを集めて新しい事業をしてもらいたいという提言なので、多少ニュアンスがこたってしまう。

(委員) 「これからの地域の子育てについて」としてもいいと思う。青年等入れずにおおまかでもいいのではないか。

(委員) 「小中学校児童期におけるこれからの子育てについて」にする。

(2) その他

・事務局から城南地域まちづくり会議の設立総会について説明

(3) 部会における地域課題の調査研究について

【部会開催】

・第一部会「地域交通の利便性について」

・第二部会「これからの子育てについて」

・第三部会「シニアの安全・安心なまちづくりについて」

4 次回の開催予定

1月21日(木)場所：城南公民館 2階 多目的ホール 午前9時30分から

2月18日(木)場所：城南公民館 2階 多目的ホール 午前9時30分から

3月17日(木)場所：城南公民館 2階 多目的ホール 午後1時30分から

5 閉会